

『資本論』講座東京協議会主催 Das Kapital を読む会共催

宮川彰講師による、特別講座全3回

搾取の真髓を語ろう

— 領有法則まで見極めてこそ、社会変革に通ず —

■第1回 2025年11月3日(月・文化の日)

時間：午後1時～5時

場所：東京労働会館地下中会議室（JR山手線大塚駅徒歩5分）

講師：宮川 彰（首都大学東京名誉教授）

資料代：500円（zoom同時開催後日視聴可）

講師メッセージ：オックスファム『99%対1%』の格差批判ではどこが問題か？ 世に出回っている『搾取』＝不等価交換説の徹底吟味で、『資本論』剰余価値論の真髓を明らかにします。『搾取』の精確な把握こそが社会変革の動機づけにつながります。

■第2回 2025年12月7日(日) 午後1時～5時 資料代500円

エデュカス東京地下会議室

（JR中央線市ヶ谷駅徒歩7分 地下鉄有楽町線麹町駅徒歩2分）

テーマ：ここまで来た「ジェンダー平等」—人類史の社会主義実験から学ぶ—

講師メッセージ：旧ソ連東欧では、生産手段の社会化（「生産の社会化」）にとどまらず、炊事・清掃・育児など「家事の社会化」、家事労働の社会共同的处理にまで踏み出され、男女共同参画のための物質的条件が前進しました。“ジェンダー平等”の問題で理念倒れに終わらぬよう20世紀社会主義の史実から教訓を学びとります。

■第3回 2026年1月18日(日) 午後1時～5時 資料代500円

東京労働会館地下中会議室（JR山手線大塚駅徒歩5分）

テーマ：マルクス『草稿』の読み方—エンゲルス編集は本当に見落としたか—

講師メッセージ：『草稿』研究はマルクス、エンゲルスの究極目標・最終到達点と背馳するものであってはならない。第2部「第1草稿」“見落とし”が本当にあったのか、第2部第3篇では“恐慌論未達”だったのか？ 具体的文献でもって検証します。

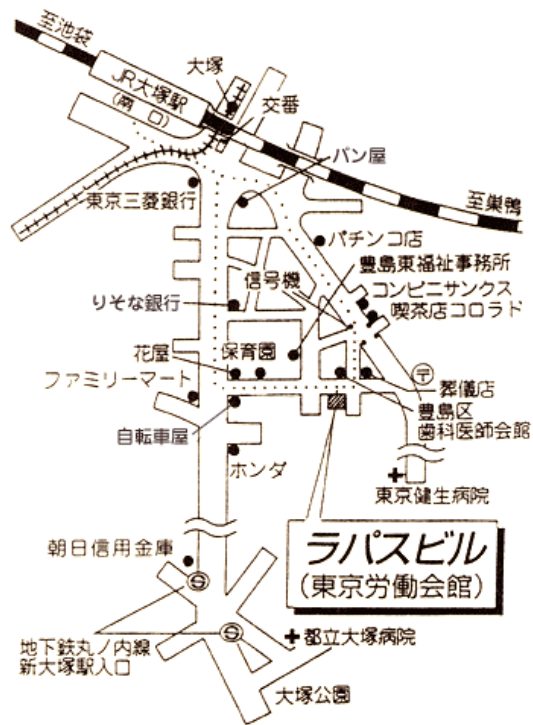
●申込先：shihonrontk2@gmail.com（担当：フジモト）

zoom申込者には招待状送付 YouYube申込は後日受講可

●振込先：ゆうちょ銀行 10970-18378981 【口座名】東京資本論講座

●HP: <https://sihonron-tokyo.net>

東京労働会館地下中会議室



交通機関：JR大塚駅(南口) 徒歩5分
地下鉄 新大塚 徒歩5分

エデュカス東京地下会議室

